奥の細道をたずねて

「月日は百代の過客にして、行きかふ年もまた旅人なり」

元禄二年（一六八九年）三月、松尾芭蕉は片雲の風に誘われて江戸・深川をたつ。日光、那須を抜け、白河の関からみちのくを北上。仙台、平泉、出羽三山、象潟を訪れ、北陸を通り、岐阜・大垣へと至る約二千四百キロ、五ヶ月間の長旅であった。西行、宗祇にあこがれ、漂泊の思いやまぬ歌まくら探訪の旅は、名作「おくの細道」として結実。今年はその紀行文が刊行されて３百年に当たる。芭蕉の足跡をたどりながら、時の流れに思いをはせてみた。

あらたふと青葉若葉の日の光

千変万化する緑に、時間を忘れて見ほれた。遠方に連なる山々。道の両わきから迫る木立。目に涼しく、優しく、そしてみずみずしい。藍、もえぎ、黄緑。豊かな緑の表情に触れ、体の内奥から生命の息吹がこみ上げてくるような爽快感に浸った。

新緑がもえ出る初夏、芭蕉は日光を訪れた。四月一日（陽暦五月十九日）、東照宮のある日光山を参拝。好天にも恵まれたのだろう。あらたふと――」は、陽光にキラキラと輝く木々の素晴らしさに感嘆しながら徳川幕府の威光も称賛した句と解釈されている。

日光を訪ねた朝、天気は小雨模様だった。柔らかな水滴に包まれ、ミズナラやブナの緑が深みを増している。芭蕉なら、雨に煙る日光も情緒豊かに描写したに違いない。

日光駅からゆっくり歩いて約五十分。東照宮は、圧倒的な存在感を見せていた。観光客も、きらびやかな黄金装飾に目を奪われ、あちこちで立ち止まっている。浅草・清水寺からの招待状を携えた芭蕉は、来客があったため、約二時間待って拝観したとされる。恐れ多いので筆を置く」。幕府の前に、芭蕉は直接、東照宮を詠むのを控えている。

参拝した足で、東照宮宝物館の敷地内にある句碑に立ち寄った。小鳥のさえずりが静寂を際立たせる。傘を畳んで緑のシャワーに打たれていると、不意に雨が上がり、雲間から陽光が差してきた。そよとの風に揺れるモミジの葉陰から降り注ぐ黄金の光。時に弱く。その動画に　あらたふと――」が見事に重なった。

ウグイスの美声が目を細めながら年間六百十万人が訪れる日光は自然の宝庫です」と小野昌紀・日光市観光係長。もしかしたら、芭蕉の心に強く刻まれたのは、東照宮の豪壮華麗な人工美よりも日光が誇る自然美だったのかもしれない。

- 「奥の細道・・」の部分は、ワードアートでフォントはHGP行書体、２８ポイント。タイトル部分のバックの絵はクリップアート（キーワードは「バナー」で探してください）でレイアウトは四角
- 文章全体は、４段組、段の幅は１６字
- 「月日は・・・」の縦書きの部分はテキストボックス（HGP創英角ゴシックUB)、レイアウトは四角、文字列との間隔は上下０ミリ、左右５ミリに設定
- 「あらたふと・・・」の縦書きの部分は、ワードアートでフォントはHG行書体、３６ポイント、レイアウトは四角で、文字列との間隔は上下２ミリ、左右２ミリに設定
- 余白は上下左右２０ミリ、ヘッダー・フッター「用紙の端からの距離」を１０ミリに設定する。

「読売新聞２００２年８月３０日より」

奥の細道をたずねて１

（解説）

１．ページ設定を行う。（上下左右：20mm）

２．文章を入力する。

※1：「印刷の向き：横書き」のまま、先頭から 5~6 行あけて文字を入力する。段落部分を意識しながら、適当に改行を入れる。

※2：入力した文章を全選択し、「書式」－「段落」－「字下げ：1 字」の設定を行う。

※3：ページ設定から「文字方向：縦書き」「印刷の向き：縦」にする。

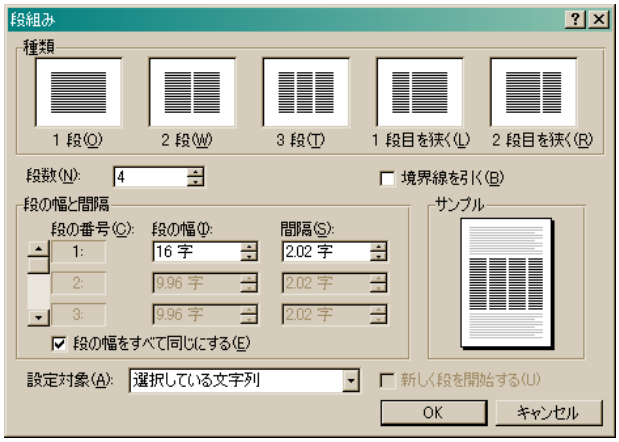
※4：テキストボックスを利用し、「月日は～」部分を縦方向に文字を入力する。
（書体：HGP 創英角ゴシック UB、フォントサイズ：12pt）

３．段組みの設定を行う。

※1：「千変万化する・・・」の 1 つ前の行から残り全てを選択する。

※2：「書式」－「段組み」をクリックする。

※3：以下のように設定する。
「段数：4」
段の幅と間隔の「段の幅：16pt」
「設定対象：選択している文字列」
となっていることを確認後、「OK」をクリックする。



４．タイトル部分をワードアートとクリップアートで作成する。

※1：ワードアート（フォント：HGP 行書体、フォントサイズ：28pt）で作成する。

※2：クリップアート（キーワード：バナー）で、「テキストの折り返し：四角」で作成する。

※3：クリップアートの上にワードアートを重ねて、「図形の調整」で整える。

５．「あらたふと・・・」の部分をワードアートで作成する。

※1：ワードアート（フォント：HG 行書体、フォントサイズ：36pt、縦書き）で作成する。

※2：ワードアートの書式設定から「折り返しの種類と配置：四角」、「詳細設定」－「文字列との間隔：上下左右 2 ミリ」とする。

６．ヘッダーとフッターの設定を行う。

※1：「ページ設定」－「その他」－「ヘッダーとフッター」から、「用紙の端からの距離」を 10 ミリに設定する。

※2：ヘッダーとフッター部分に文字（フォントサイズ：9pt）を入力する。